

【参考】

1 品種保存の取組概要

(1) 経緯

カキツバタの育種家であった故・古橋壽雄氏が、平成23年に愛知豊明花き流通協同組合へカキツバタの開花株を寄贈された。

(2) 内容

愛知豊明花き流通協同組合が開設した愛知豊明花き地方卸売市場の場内に、氏が育種された開花株60品種を豊橋市のほ場から移した。

品種の特性に応じた水管理や夏季の遮光、春と秋の施肥、株分け・植え替えなど保存活動に取り組んでいる。

2 家庭でのカキツバタの楽しみ方

○ 見 頃：5月～6月

○ 場 所：水が切れないように深水管理することができ、かつ、日当たりの良い場所。

○ 楽しみ方：スイレン鉢など大きめの鉢に植えて水をたっぷり張り、メダカやハス、水草などを浮かべると涼しげな風景をつくることができる。
株分けすることにより殖やすことができる。

3 その他

(1) 県の花

昭和29年、NHK・全日本観光連盟等の共催により、郷土の花として、カキツバタが愛知県の花に選定された。「伊勢物語」で、在原業平朝臣が京を離れて東国へ旅する道中、現在の知立市八橋の川のほとりに咲いていたカキツバタの美しさにひかれ、カキツバタの5文字を句の初めに置いて旅の心を詠んだことにちなむ。「唐衣（からころも）きつつなれにし妻しあればはるばる来ぬる旅をしぞ思ふ」

(2) 日本三大カキツバタ自生地（出典：刈谷市観光協会ホームページ）

大田ノ沢（京都市北区・大田神社参道脇）

唐川（鳥取県岩美郡岩美町）

小堤西池（愛知県刈谷市）

(3) 愛知豊明花き流通協同組合

愛知豊明花き地方卸売市場の開設者で、愛知豊明花き株式会社、日本植物運輸株式会社の2社から構成される。平成5年7月設立。

(4) 愛知豊明花き流通協同組合の協力による過去のカキツバタの展示

■愛知県公館

平成25年4月25日（木）から約1か月間

平成27年4月23日（木）から5月19日（火）まで

■愛知県庁西庁舎

平成27年5月11日（月）から5月19日（火）まで